

# 民主島根

2016年  
**12.4**  
第1276号

発行所 松江市袖師町3-6 TEL 0852-24-2444  
日本共産党島根県委員会 FAX 0852-24-6369

## 松江、出雲で党を語るつどい開く 「野党連合政権」実現で政治転換を 大平衆議院議員が党綱領・国会活動を報告

日本共産党島根県委員会は23日、松江市と出雲市で大平喜信衆議院議員を迎えて「党を語るつどい」を開きました。

福祉や教育の予算を削る一方、オスプレイ17機の購入や大学での軍事研究の予算を増加させる政治の矛盾を指摘した大平氏は、党綱領に触れながら「異常な対米従属と大企業優遇の政治に未来はない」と強調。平和と暮らしを守る政治に転換するため、「野党連合政権を実現させ、暴走する安倍政権を一日も早く退陣に追い込もう」と力を込めました。それぞれの会場では、来春の松江市議選に立候補を予定している橋祥朗、吉

儀敬子の両市議、田中肇市議予定候補の3氏と出雲市議選に立候補予定の井原優市議、後藤由美、吉井安見市議予定候補の3氏が決意を述べました。松江市の加藤悠理さん(22)は「思いやり予算で米軍基地内に小学校を

### 全県地方議員団会議ひらく 民進、社民代表が連帯あいさつ

日本共産党島根県委員会は16日、大田市で全県地方議員団会議を開きました。地方議員、機関役員ら28名が参加し、党活動や議会活動などを交流しました。民進党県連代表の和田章一郎県議、社民党県連合

建設するなど政治の異常さを感じた」と感想を語りました。出雲市では、保育士の男性(23)が「共産党は働く若い世代の願いを真剣に考えている。自分もその一員になりたい」と入党申込書にサインしました。副代表の山本誉県議が連帯あいさつし、「横暴を続ける安倍政権を倒すため、野党共闘を大切に、衆院選でも力を合わせよう」と呼びかけました。(写真)上代善雄書記長が第27回党大会決議案などを報告し、「野党と市民の共

松江会場では入党を呼びかける大平衆議院議員(県民会館大会議室)



100人を超える参加者でいっぱいとなった出雲会場(出雲市民会館)



8日、JR松江駅前前で宣伝し、南スーダンに派遣された自衛隊に「駆け付け警護」などの新任務を与えた閣議決定に抗議し、沖縄基地押し付け撤回を求める署名に取り組みました。7団体から9

## 県憲法会議 南スーダンに送るな！ JR松江駅前で「9の日」宣伝

人が参加しました。訴えに耳を傾ける人や、署名用紙を持ち帰る男性もいました。21人から署名が寄せられました。(写真) 県労働者学習協議会副会長の吉儀和さんは「自衛隊員が武器をしよ



闘を進展させ、安倍政権を打倒し、野党連合政権をつくるため、議員と機関が先頭に立って党勢拡大で飛躍をつくり出し、党大会を成功させよう」と訴えました。

尾村利成、大国陽介の両県議が県議会決算特別委員会でも求めた医療や子育て、教育、雇用、農業など各分野における県内自治体の制度や施策状況を報告しました。

### 鼓動

この秋から、機関紙「新しい松江」に、松江市内の名所旧蹟を訪ねる「まつえプラーリ探訪」という拙文を時々掲載している。かつて訪れた所でも再訪すると、新発見もあり改めて松江の魅力を感じている▼40数年前の大学受験の前日、初めて松江の地に降り立ち、松江大橋の欄干に身を委ね、遠くの嫁ヶ島(当時、宍道湖大橋はなかった)をぼんやりと眺めた。水と緑の風光明媚な情景とともに、街並みにそこはかと漂う風情とたえずまいに感動したことを覚えている▼今回、連載を始めたきっかけは、生活雑誌「暮らしの手帖」の名編集長といわれた花森安治の名文との出会いだ。半世紀前に、同誌に載った「松江紀行」である。「町のまんなかに、城がある。その森を、ぐるっとだいて、濠がめぐっている…」で始まる文章と大きな数々の写真で綴られた松江紀行特集に、眠っていたわが心が揺さぶられた▼神戸出身の花森は、昭和初期の3年間に島根大学の前身、旧制松江高校に通った。ここで、花森は水と緑、歴史と文化が織りなす松江に魅了された。それから30数年後、東京五輪の喧騒を抜け出し、再び松江の地を訪れ「水の町―日本紀行 松江」を特集した▼この時の花森の来松から70数年前の明治期、松江に英語教師として着任したのがラファディオ・ハーンだ。ハーンが、松江の面影を世界へ発信したことは周知のことである。この二人には遠く及ばないが、同じくよそから移り住んだ一人として、松江の良さを再発見する探訪を続けていきたい。(吉)

# 介護福祉士、保育士ら50人訴える 介護・保育現場の充実を

## 尾村・大國県議が同席



全国福祉保育労組島根支部（原和彦執行委員長）は17日、溝口善兵衛知事あてに「介護保険の充実」「保育制度の拡充」を求め「保育現場の願いに心を寄せ、実効ある施策を講じるよう求めました。（写真）」

介護福祉士や保育士など50名が参加。日本共産党の尾村利成、大國陽介の両県議らが同席しました。介護福祉士らは、人員不足や過重負担で十分な介護ができない実態を語り、「希望とやりがいを持って、ように介護労働者の抜きことだと考える。（「小村きちいちの議会報告」より）」

### 地域の話題

#### 水道料値上げ反対 原田議員が討論

安来市が9月議会で簡易水道事業会計の上水道事業会計「公営企業会計」への移行（17年3月末）で国からの支援が受けられなくなることで、給水人口の減少による給水収益の減少、施設更新を行うための財源不足を理由に、水道料の引き上げを提案したことに對し、原田議員は「今、生活が苦しいという人が6割を超えている。水道料の値上げは、生活をさらに圧迫することに「国保税に続く相次ぐ負担増は認められない」と述べ、来年4月までに値上げ回避の検討を行

うよう求め、反対しました。（「原田きよ子の議会だより」より）」

#### コミセン職員待遇 小村議員が質問

小村議員「コミユニティーセンターの様々な活動は、職員の懸命な働きがあつてのことだ。それに相応しい処遇を保障すべきではないか。例えば、1年で1000円の昇給となつていて、消費税増税などがあるれば実質賃金はダウンとなる。人事院勧告に準ずる措置などを講ずるべきと考えるがどうか。」

部長「職員の待遇については、一定の見直しも行ったと思つている。今後、賃金水準などを見ながら検討していくべ

#### 無料ミニデイ存続を 西村議員が要求

西村議員「来年4月から要支援者の訪問・通所サービスを紹介保険から外す改正は国家的詐欺に等しい暴挙である。ミニデイサービスが無料から有料に変わるとは大きな問題であり、有料になれば継続利用は減り、「事業者は報酬単価引き下げによる収入源を新サービスの利用で補う」という市の説明も説得力に欠ける。ミニデイ利用料の無料据え置きを要求する。」

部長「ミニデイサービスは続けてほしいという要望もあり、自己負担はない形で残そうと考えている。（「西村健の議会報告」より）」

## 11年ぶりの議席回復から2年 中国地方の声をまっすぐ届けて



衆議院議員(比例中国) **大平よしのぶ**

鳥取中部地震 従来枠超す支援要求  
日本共産党の大平喜信衆院議員は17日の衆院災害対策特別委員会で、相次ぐ自然災害に国の支援が追いついていないと述べ、従来の枠に留まらない支援を求めました。大平氏は、鳥取県中部地震（10月）による住宅被害は大半が一部損壊で、屋根瓦の修復に数百万円かかる場合でも国の被災者生活支援制度では適用外になることを指摘し、支援を訴えました。

岩国基地F35配備 絶対に認められない  
稲田防衛相は21日、衆院決算行政監視委員会の第2分科会で、米海兵隊岩国基地に来年1月から配備予定のF35Bステルス戦闘機について、将来的に核の搭載が可能になるとの見解を示しました。日本共産党の大平喜信衆院議員が質問しました。

大平氏は、米国の核戦略の方針となる「核態勢の見直し（NPR）」（2010年4月発表）の資料に、同機が非戦略核兵器を装備する可能性があることと述べていることを示し、見解をただしました。稲田氏は「将来的には含まれる」と述べ、「現時点でF35は核搭載能力を持つには至っていない」と答弁。大平氏は「F35Bに核兵器が配備される可能性がある」と認めたもので「重大だ」と指摘しました。

「駆け付け警護」は違憲  
三宅 島根大学教授が憲法フォーラムで講演  
衆議院憲法特別委員会は15日、松江市で「戦争法Q&A」をテーマに第32回市民憲法フォーラムを開きました。三宅孝之島根大学名誉教授が講演しました。

三宅氏は「戦争当事者は侵略戦争の場合でも必ず自衛・防衛の戦争と言う」と述べ、自衛隊への「駆け付け警護」の新任務付与について「政府は自己保存（緊急行為）の武力行使であれば、国際紛争を処理するためにやっつてよいという自己保存の原則に立っている」と指摘。「現憲法は国家による戦争と国家紛争の解決手段としての武力行使を否定している」と違憲性を語りました。

### 案内板

「沖縄と連帯する島根の会」(仮称)  
記念講演 & 設立総会  
とき 12月10日(土)  
13:40~ 記念講演 小泉親司 党中央・基地問題  
対策委員会責任者  
14:40~ 設立総会(15:30 終了予定)  
ところ 内陸工業団地内・矢田体育館2F  
■問い合わせ・連絡先 0852-25-5347 中林